

研究発表プログラム 口頭発表 1

発表時間：1 鈴：9 分，2 鈴：12 分（発表終了），3 鈴：15 分（質疑・討論終了）
（スペシャルセッション（SP）はセッションごとに異なります）

9 月 25 日（月） 09：00 ～ 12：00

A 会場（クロステン 2 階 大ホール）

09：00～12：00

SP1：学生優秀発表賞特別セッション

座長：山口悟（雪氷研究大会（2017・十日町）実行委員会学生優秀賞担当），富永禎秀（雪氷研究大会（2017・十日町）実行委員会学生優秀賞担当），高田守昌（雪氷研究大会（2017・十日町）実行委員会学生優秀賞担当）

- A1-1 汎用レーザー距離計による積雪深計測
○鈴木智也（長岡技術科学大学），上村靖司（長岡技術科学大学）
- A1-2 回転体の着氷に適した非接触形状計測手法の開発とダクトファンへの適用
○橋本幸子（高知工科大学），波多野楓華（高知工科大学），水野拓哉（宇宙航空研究開発機構），鈴木正也（宇宙航空研究開発機構），賀澤順一（宇宙航空研究開発機構），野崎理（高知工科大学）
- A1-3 福島県における雪害対策に関する基礎的研究 -会津地方市町村の雪害対策状況について-
○齋藤郁美（郡山女子大学），山形敏明（郡山女子大学），細川和彦（北海道科学大学），苫米地司（北海道科学大学）
- A1-4 合成開口レーダーによる氷河・氷床の流動速度の季節変化解析 -東南極宗谷海岸南部の事例-
○白水薫（総合研究大学院大学），土井浩一郎（総合研究大学院大学，国立極地研究所），青山雄一（総合研究大学院大学，国立極地研究所）
- A1-5 連続融解システムによる極地氷床コア中の CH₄ 分析 -南極ドームふじコア・グリーンランド SIGMA コア解析-
○荒井美穂（山形大学），川村賢二（国立極地研究所，総合研究大学院大学，海洋研究開発機構），北村享太郎（国立極地研究所），東久美子（国立極地研究所，総合研究大学院大学），尾形純（国立極地研究所），Remi Dallmayr（国立極地研究所），鈴木利孝（山形大学）
- A1-6 札幌における積雪不純物がアルベドと放射強制力に与える定量的な影響
○広沢陽一郎（岡山大学），青木輝夫（岡山大学），庭野匡思（気象研究所），的場澄人（北海道大学），兒玉裕二（国立極地研究所），谷川朋範（気象研究所）
- A1-7 積雪期の上高地における特異な低温
○黒雲勇希（信州大学），佐々木明彦（信州大学），鈴木啓助（信州大学）
- A1-8 越年性雪渓を含む集水域から流出する地表流の水質挙動
○清水啓紀（信州大学），佐々木明彦（信州大学），鈴木啓助（信州大学）
- A1-9 積雪面の熱収支解析による極度の低温発生条件の検討
○西村基志（信州大学），佐々木明彦（信州大学），鈴木啓助（信州大学）
- A1-10 2 種類の霜の発生環境と増加要因の違い
○澁谷和樹（明治大学），登尾浩助（明治大学）
- A1-11 着氷環境下における超撥水面上の水滴衝突挙動
○前田哲郎（神奈川工科大学），菊池直樹（神奈川工科大学），守田克彰（宇宙航空研究開発機構），木村茂雄（神奈川工科大学）
- A1-12 風による屋根雪偏分布の数値予測 -切妻屋根モデルを対象とした人工雪低温風洞実験と予備的 CFD 解析-
○村山唯（新潟工科大学），五十嵐賢次（新潟工科大学），根本征樹（防災科学技術研究所），富永禎秀（新潟工科大学）
- A1-13 1980 年ヒマラヤ山脈エベレスト・クンブ氷河ウエスタンクームで掘削された浅層アイスコア解析
○堀耀一朗（千葉大学），竹内望（千葉大学），吉田稔（白山工業），藤井理行（国立極地研究所）

B会場（クロステン 2階 中ホール）

09:00~10:30

SP2: 吹雪・吹きだまりの計測技術に関する新たな展開

座長: 松澤勝 (寒地土木研究所)

- B1-1 吹雪の計測
○西村浩一 (名古屋大学)
- B1-2 北海道石狩地方における吹雪の高密度集中観測
○根本征樹 (防災科学技術研究所), 西村浩一 (名古屋大学), 大宮哲 (寒地土木研究所), 下山宏 (北海道大学), 新屋啓文 (名古屋大学), 羽賀秀樹 (新潟電機), 伊藤陽一 (防災科学技術研究所)
- B1-3 エンジンルームラビリンス流路内の雪挙動の把握 -自動車エンジンインテークダクト内雪入り量予測技術構築に向けて-
○倉谷尚志 (本田技術研究所), 吉武邦彦 (本田技術研究所), 二上明久 (本田技術研究所), Nucera Fortunato (本田技術研究所)
- B1-4 吹雪検知センサーとしての大気電場計の有用性
○大宮哲 (寒地土木研究所), 鴨川仁 (東京学芸大学), 松澤勝 (寒地土木研究所)
- B1-5 ドップラーライダーによる近距離風速計測手法に関する調査研究 -吹雪における飛雪粒子の速度ベクトルの検出に向けて-
○櫻井俊光 (寒地土木研究所), 松澤勝 (寒地土木研究所)

10:30~11:15

吹雪

座長: 小杉健二 (防災科学技術研究所)

- B1-6 雪粒子の空気輸送モデルによる地吹雪メカニズムの解明 -その1 ラージ・エディ・シミュレーションに基づくラグランジュ型雪粒子輸送モデルの構築-
○新屋啓文 (名古屋大学), 大風翼 (東京工業大学), 西村浩一 (名古屋大学)
- B1-7 雪粒子の空気輸送モデルによる地吹雪メカニズムの解明 -その2 数値計算による境界層中の非定常な地吹雪の再現-
○大風翼 (東京工業大学), 新屋啓文 (名古屋大学), 西村浩一 (名古屋大学)
- B1-8 吹きだめ柵の下部間隙による積雪変化
○小島徹也 (工学気象研究所), 森川浩司 (工学気象研究所), 木村茂雄 (神奈川工科大学), 山岸陽一 (神奈川工科大学)

11:15~12:00

降雪・着氷雪

座長: 山下克也 (防災科学技術研究所)

- B1-9 新雪の比表面積に関する研究(2)
○山口悟 (防災科学技術研究所), 石坂雅昭 (防災科学技術研究所), 本吉弘岐 (防災科学技術研究所), 山下克也 (防災科学技術研究所), 中井専人 (防災科学技術研究所), 橋本明弘 (気象庁気象研究所), Vionnet Vincent (メテオフランス), 八久保晶弘 (北見工業大学), 青木輝夫 (岡山大学)
- B1-10 XバンドMPレーダデータを用いた吹雪検知の可能性について(2) -レーダデータを用いた上空風の解析-
○國分徹哉 (寒地土木研究所), 大宮哲 (寒地土木研究所), 松下拓樹 (寒地土木研究所), 松澤勝 (寒地土木研究所)
- B1-11 Kバンド鉛直レーダーによる霰や霰状雪の短時間降水イベントでのZ-R関係
○本吉弘岐 (防災科学技術研究所), 石坂雅昭 (防災科学技術研究所), 中井専人 (防災科学技術研究所), 山下克也 (防災科学技術研究所)

C会場（クロステン 3階 レセプションホール）

09:00~10:30

雪氷化学

座長：鈴木利孝（山形大学）

- C1-1 波長別雪面アルベドと濁度との関係
○高宮圭（山形大学）、鈴木利孝（山形大学）
- C1-2 天山山脈ウルムチ No.1 氷河表面の化学成分の空間分布
○杉山涼（千葉大学）、竹内望（千葉大学）、堀燿一郎（千葉大学）、Li Zhongqin（中国科学院）
- C1-3 アラスカ・ランゲルアイスコア中の地殻起源物質-鉄、非海塩カルシウム、不溶性固体微粒子の挙動-
佐々木央岳（北海道大学、工学気象研究所）、○的場澄人（北海道大学）、白岩孝行（北海道大学）、安成
哲平（北海道大学）
- C1-4 グリーンランド南東ドームコア中に記録された金属全濃度変動
○佐々木千晶（山形大学）、鈴木利孝（山形大学）、平林幹啓（国立極地研究所）、飯塚芳徳（北海道大学）
- C1-5 南極ドームふじ南方における氷床表面中の金属成分
○鈴木利孝（山形大学）、庄司愛理（山形大学）、柴田麻衣（山形大学）、飯塚芳徳（北海道大学）、平林
幹啓（国立極地研究所）、川村賢二（国立極地研究所）、本山秀明（国立極地研究所）
- C1-6 南極ドームふじ深層氷コア中の金属成分と微粒子濃度の関係
○米倉綾香（山形大学）、鈴木利孝（山形大学）、飯塚芳徳（北海道大学）、平林幹啓（国立極地研究所）、
川村賢二（国立極地研究所）、本山秀明（国立極地研究所）

10:45~12:00

雪氷と生活

座長：上村靖司（長岡技術科学大学）

- C1-7 昭和20年（1945）の上越市高田の豪雪について 昭和初期の豪雪期における町の状況と排雪手法に関する研究-8
○菅原邦生（山形工科短期大学）
- C1-8 雪害リスクを生活情報として提供するための研究
○細川和彦（北海道科学大学）、二本柳玲子（北海道科学大学）、山形敏明（郡山女子大学）、苔米地司（北
海道科学大学）
- C1-9 豪雪地帯指定市町村における除雪ボランティアの実施の有無に関わる社会環境要因の検討
○高橋和幸（弘前学院大学）
- C1-10 雪下ろしに特化した安全ハシゴの開発とモニター調査
上村靖司（長岡技術科学大学）、○増田宗一郎（長岡技術科学大学）、杉木道明（長谷川工業）
- C1-11 氷冷熱を利用した農産物貯蔵庫の断熱性能の検証と送風される冷気の温度状況
○村岡瑛美（帯広畜産大学）、木村賢人（帯広畜産大学）

研究発表プログラム 口頭発表 2

発表時間：1 鈴：9 分，2 鈴：12 分（発表終了），3 鈴：15 分（質疑・討論終了）
（スペシャルセッション（SP）はセッションごとに異なります）

9 月 26 日（火） 09：00 ～ 12：00

A 会場（クロステン 2 階 大ホール）

09：00～11：15

雪氷と生物

座長：竹内望（千葉大学），佐々木明彦（信州大学）

- A2-1 山形県月山の樹林帯の積雪で活動するトビムシの生活史 -活動場所の変化と炭素・窒素同位体分析による食物の推定-
○石渡晃起（千葉大学），竹内望（千葉大学），陀安一郎（総合地球環境学研究所），太田民久（総合地球環境学研究所）
- A2-2 日本の積雪域に生息するセッケイカワゲラの種分化と気候変動 -ミトコンドリア COI 遺伝子を用いた系統解析-
○岡本智夏（千葉大学），竹内望（千葉大学），黒田志織（千葉大学），沖三奈絵（千葉大学），村上正志（千葉大学），根来尚
- A2-3 カナダ北極・エルズミア島氷河後退域における菌類の多様性と南北両極アイスコアに眠る菌類の分離について
○辻雅晴（国立極地研究所），田邊優貴子（国立極地研究所，総合研究大学院大学），中澤文男（国立極地研究所，総合研究大学院大学），Warwick F. Vincent（ラバル大学），内田雅己（国立極地研究所，総合研究大学院大学）
- A2-4 陸面過程モデル MATSIRO を用いた雪氷藻類繁殖の計算実験
○大沼友貴彦（東京大学），芳村圭（東京大学），竹内望（千葉大学），新田友子（東京大学），永塚尚子（国立極地研究所），庭野匡思（気象庁気象研究所），青木輝夫（岡山大学，気象庁気象研究所）
- A2-5 リアルタイム浮遊菌カウンタによる大気環境中のバイオエアロゾルの計測（II）
○渡辺幸一（富山県立大学），深井謙佑（富山県立大学），佐藤博仁（富山県立大学），平井泰貴（富山県立大学），牧輝弥（金沢大学）
- A2-6 3 種類のスギ林と裸地における融雪係数の比較
○村上茂樹（森林総合研究所），竹内由香里（森林総合研究所），庭野昭二（元森林総合研究所）
- A2-7 冷温帯における落葉広葉樹類の休眠期の過ごし方について
○斎藤新一郎（北海道開発技術センター）
- A2-8 硝酸の三酸素同位体組成を指標とした石川県白山市の森林集水域における内部窒素循環の解析
○服部祥平（東京工業大学），Yoshio Nunez Palma（東京工業大学），伊藤優子（森林総合研究所），川崎萌子（石川県農林総合研究センター），高瀬恵次（石川県立大学），吉田尚弘（東京工業大学，地球生命研究所）
- A2-9 釧路・根室地方におけるエゾシカロードキルと積雪との関係
○阿部正明（北海道開発技術センター），佐藤金八（北海道開発技術センター），野呂美紗子（北海道開発技術センター）

11：15～12：00

凍土

座長：石川守（北海道大学）

- A2-10 Spatial modelling of Mongolian permafrost -Statistical and stochastic approaches-
○石川守（北海道大学）
- A2-11 一方向凍結過程にある不飽和土中の水ポテンシャル勾配と水分移動
○渡辺晋生（三重大学），伴俊和（三重大学）
- A2-12 一軸凍上実験の際に生じる側方応力に関する一考察
○大石雅人（精研），上田保司（精研）

B会場（クロステン 2階 中ホール）

09:00~12:00

SP8：温帯雪氷圏における降積雪変動と雪氷災害の変容

座長：松元高峰（新潟大学），河島克久（新潟大学）

- B2-1 温帯雪氷圏における降積雪変動と雪氷災害の変容の解明に向けて
○河島克久（新潟大学），松浦純生（京都大学），松元高峰（新潟大学），伊豫部勉（京都大学），平松和彦（福山市立大学），本田明治（新潟大学），立花義裕（三重大学）
- B2-2 温帯雪氷圏における降積雪変動 -十日町 100 年の観測データに基づく冬期の気温・降水量・積雪深の変動-
○竹内由香里（森林総合研究所），石坂雅昭（防災科学技術研究所）
- B2-3 新潟県における年最大積雪深および積雪期間の長期変動解析 -冬季の降水量・気温の変動との関係-
○柴田有貴（日立市民科学文化財団），河島克久（新潟大学），鈴木博人（東日本旅客鉄道）
- B2-4 鉄道における降積雪深の観測とその長期変動 -新潟県とその周辺地域について-
○鈴木博人（東日本旅客鉄道）
- B2-5 長野県における年降雪量・年最深積雪・冬季降水量の経年変化
○栗林正俊（長野県環境保全研究所），大和広明（長野県環境保全研究所），浜田崇（長野県環境保全研究所），富樫均（長野県環境保全研究所），若月泰孝（茨城大学，海洋研究開発機構）
- B2-6 準リアルタイム積雪分布監視システムを用いた山陰地方における 2017 年 1~2 月大雪時の降積雪分布の解析
○伊豫部勉（京都大学），河島克久（新潟大学），松元高峰（新潟大学）
- B2-7 2017 年 1 月及び 2 月の山陰地方の大雪による災害の時空間的特徴
○栗原璃（新潟大学），河島克久（新潟大学），松元高峰（新潟大学），伊豫部勉（京都大学）
- B2-8 2016/17 年冬季の山陰地方に大雪をもたらした大気循環場の特徴
○本田明治（新潟大学），春日悟（新潟大学），山崎哲（海洋研究開発機構），河島克久（新潟大学）
- B2-9 顕著大気追跡監視表示システムによる 2016/17 年冬季の山陰豪雪事例の解析
○春日悟（新潟大学），本田明治（新潟大学），浮田甚郎（新潟大学）
- B2-10 日本に大雪をもたらす雪雲の「群れ」が大規模な大気場に与える影響
○小松謙介（三重大学），山本雪乃（三重大学），立花義裕（三重大学），西井和晃（三重大学）
- B2-11 昭和 20 年豪雪の復元のための数値実験
○立花義裕（三重大学），山内大輝（三重大学），小松謙介（三重大学）

C会場（クロステン 3階 レセプションホール）

09:00~10:00

雪氷物理

座長：木田真人（産業技術総合研究所）

- C2-1 カーリング・ストーンの剛体平面運動に関する解析的取扱い
○佐渡公明（北見工業大学），亀田貴雄（北見工業大学），鹿野大貴（北見工業大学）
- C2-2 ストーンの初速方向とカールの三領域
○対馬勝年（富山大学名誉教授），森克徳（富山大学名誉教授）
- C2-3 立方体氷 I_h 試料における印加電場に垂直な応答信号 -融点近傍での測定結果-
○竹井巖（北陸大学）
- C2-4 シクロペンタンハイドレートの結晶構造解析
○竹谷敏（産業技術総合研究所），安田啓太（慶應義塾大学，琉球大学），大村亮（慶應義塾大学）

10:00~11:00

海水と陸氷

座長：谷川朋範（気象庁気象研究所）

- C2-5 網走湖における湖水フェノロジー
○大畑有（北海道大学），豊田威信（北海道大学）
- C2-6 衛星 SAR 画像を用いたオホーツク海南部海水域における変形氷分布の抽出 -季節海水域の力学過程の解明に向けて-
石山惇広（北海道上川郡当麻町役場），○豊田威信（北海道大学）
- C2-7 AMSR-E/AMSR2 データを用いたリュツォ・ホルム湾定着氷の表面融解日の抽出
○直木和弘（東海大学），長幸平（東海大学）
- C2-8 グリーンランド北西部カナックフィヨルドにおける海氷の波長別アルベド測定
○谷川朋範（気象庁気象研究所），青木輝夫（気象庁気象研究所，岡山大学），庭野匡思（気象庁気象研究所），保坂征宏（気象庁気象研究所），堀雅裕（宇宙航空研究開発機構）

11:15~12:00

観測・計測技術

座長：齊田光（寒地土木研究所）

- C2-9 積雪比表面積測定手法の相互比較
○青木輝夫（岡山大学，気象庁気象研究所），八久保晶弘（北見工業大学），谷川朋範（気象庁気象研究所），庭野匡思（気象庁気象研究所），堀雅裕（宇宙航空研究開発機構），島田利元（宇宙航空研究開発機構），杉浦幸之助（富山大学），広沢陽一郎（岡山大学），山口悟（防災科学技術研究所）
- C2-10 UAV 撮影画像を用いた昭和基地の積雪深分布
○荒川逸人（野外科学，第57次日本南極地域観測隊），金高義（福島工業高等専門学校），友松岳士（KDDI，第57次日本南極地域観測隊）
- C2-11 氷床コア深層掘削機の電装部の開発 -基本設計とウインチケーブル通信の検討-
○高田守昌（長岡技術科学大学），本山秀明（国立極地研究所，総合研究大学院大学）

研究発表プログラム 口頭発表 3

発表時間：1 鈴：9 分，2 鈴：12 分（発表終了），3 鈴：15 分（質疑・討論終了）
（スペシャルセッション（SP）はセッションごとに異なります）

9 月 27 日（水） 09：00 ～ 12：00

A 会場（クロステン 2 階 大ホール）

09：00～10：30

SP3：2017 年 3 月 27 日に栃木県那須岳で発生した雪崩災害

座長：中村一樹（防災科学技術研究所）

A3-1 低気圧による降雪が原因となった那須岳の表層雪崩

○中村一樹（防災科学技術研究所），小杉健二（防災科学技術研究所），根本征樹（防災科学技術研究所），上石勲（防災科学技術研究所），山口悟（防災科学技術研究所），伊藤陽一（防災科学技術研究所），佐藤研吾（防災科学技術研究所），内山庄一郎（防災科学技術研究所），鈴木比奈子（防災科学技術研究所），阿部直樹（防災科学技術研究所）

A3-2 2017 年 3 月 26-27 日那須近辺上空における降水と風のレーダー解析

○中井専人（防災科学技術研究所），清水慎吾（防災科学技術研究所），前坂剛（防災科学技術研究所），岩波越（防災科学技術研究所），木枝香織（防災科学技術研究所）

A3-3 那須雪崩をもたらした低気圧・降雪雲の特徴

○荒木健太郎（気象庁気象研究所）

A3-4 降雪による弱層形成に関する雲・降水数値モデルを用いた新雪特性の推定

○橋本明弘（気象庁気象研究所），本吉弘岐（防災科学技術研究所），山口悟（防災科学技術研究所），中井専人（防災科学技術研究所）

A3-5 無人航空機と SfM 写真測量による 2017 年 3 月 27 日栃木県那須町の雪崩災害調査

○内山庄一郎（防災科学技術研究所），鈴木比奈子（防災科学技術研究所），中村一樹（防災科学技術研究所），上石勲（防災科学技術研究所）

A3-6 3 月 27 日に発生した那須雪崩の再現を目的とした 3 次元流動解析

○小田憲一（日本大学），高瀬慎介（八戸工業大学），森口周二（東北大学），上石勲（防災科学技術研究所），内山庄一郎（防災科学技術研究所），中村一樹（防災科学技術研究所），阿部直樹（防災科学技術研究所）

A3-7 日本の雪崩災害 DB からわかった那須雪崩災害の特質

○和泉薫（NPO なだれ防災技術フォーラム），納口恭明（防災科学技術研究所）

A3-8 災害事例の文献調査と地図化を通じた那須岳周辺の雪崩災害の発生傾向の調査

○鈴木比奈子（防災科学技術研究所），内山庄一郎（防災科学技術研究所），中村一樹（防災科学技術研究所）

10：30～12：00

雪崩

座長：小田憲一（日本大学）

A3-9 人工雪崩実験による雪崩ダイナミクスの解明 -その 4 2017 年冬期に実施した実験の概要-

○伊藤陽一（防災科学技術研究所），西村浩一（名古屋大学），齋藤佳彦（雪研スノーイーターズ），Cristina Pérez-Guillén（名古屋大学），砂子宗次朗（名古屋大学），新屋啓文（名古屋大学），山口悟（防災科学技術研究所），新谷暁生（ニセコ雪崩調査所）

A3-10 人工雪崩実験による雪崩ダイナミクスの解明 -その 5 新たな計測技術の適用-

○Cristina Pérez-Guillén（名古屋大学），西村浩一（名古屋大学），伊藤陽一（防災科学技術研究所），山口悟（防災科学技術研究所）

A3-11 小型ドローンを用いた全層雪崩の調査

○秋山一弥（筑波大学），塚原直幸（筑波大学）

A3-12 構造化された雪崩サーチ&レスキュー教育の設計と実践 -国際標準化された技術の導入を目指して-

○榊原健一（北海道医療大学），藤村知明（カナディアンアルプス），Manuel Genswein

- A3-13 2017年春季の雪崩災害の地形と傾斜量区分図
○関口辰夫（国土交通省国土地理院），栗栖悠貴（国土交通省国土地理院），高桑紀之（国土交通省国土地理院），野口高弘（国土交通省国土地理院）
- A3-14 道路の切土のり面における標準間隔以外の雪崩予防対策となる小段幅設計手法の提案
○横山博之（北見工業大学），亀田貴雄（北見工業大学），高橋修平（北海道立オホーツク流氷科学センター）

B会場（クロステン 2階 中ホール）

09:00~10:45

氷河

座長：縫村崇行（千葉科学大学）

- B3-1 パタゴニア・グレイ氷河における氷河末端の水中構造がカービングに果たす役割
○杉山慎（北海道大学），箕輪昌紘（北海道大学），山本淳博（北海道大学），マリウス・シェーファー（オーストラル大学）
- B3-2 グリーンランド北西部 Bowdoin 氷河における末端位置変動と海底地形の関係
○浅地泉（北海道大学），榊原大貴（北海道大学），杉山慎（北海道大学），山崎新太郎（北見工業大学）
- B3-3 ヒマラヤにおける小型氷河湖短期拡大の予察的研究
○永井裕人（宇宙航空研究開発機構），田殿武雄（宇宙航空研究開発機構）
- B3-4 SfM 技術を用いたネパールヒマラヤ・クンプ地域における 1970 年代～2016 年の氷河表面標高変化
○大田晃三郎（名古屋大学），砂子宗次朗（名古屋大学），坂井亜規子（名古屋大学），大森弘一郎（日本山岳会ゴジュンパ氷河調査隊），藤田耕史（名古屋大学）
- B3-5 ネパール・ヒマラヤ，トランバウ氷河におけるデブリ域の熱特性について
○砂子宗次朗（名古屋大学），藤田耕史（名古屋大学），坂井亜規子（名古屋大学）
- B3-6 ブータン・ヒマラヤの岩石氷河
○福井幸太郎（立山カルデラ砂防博物館），藤田耕史（名古屋大学），プンツォ・ツェリン（ブータン地質鉱山局），古屋正人（北海道大学）
- B3-7 北アルプスの氷河・越年性雪渓の年間質量収支と地形環境
○奈良間千之（新潟大学），山本遼平（新潟大学），有江賢志朗（新潟大学），福井幸太郎（立山カルデラ砂防博物館），飯田肇（立山カルデラ砂防博物館）

11:00~12:00

氷床

座長：大藪幾美（国立極地研究所）

- B3-8 南極氷床上の S16 からドームふじまでの表面質量収支の特徴 -1992 年から 2008 年までの結果-
○亀田貴雄（北見工業大学），下館勝也（北見工業大学），本山秀明（国立極地研究所）
- B3-9 南極ドームふじ深層コアの結晶主軸方位分布の鉛直集中度に記録された過去約 10 万年間の積雪堆積時の変態強度
○藤田秀二（国立極地研究所）
- B3-10 南極ドームふじ氷床コアの O_2/N_2 による年代精度向上 -高分解能分析による O_2/N_2 の変動メカニズムの考察-
○大藪幾美（国立極地研究所），川村賢二（国立極地研究所，総合研究大学院大学），北村享太郎（国立極地研究所）
- B3-11 グリーンランド NEEM 掘削孔の変形観測による気候状態と氷の流動性の関係
○グレーベ・ラルフ（北海道大学），ダール=イェンセン・ドーテ（コペンハーゲン大学），ヴィドベルグ・クリスティーネショット（コペンハーゲン大学）

C会場（クロステン 3階 レセプションホール）

09:00~10:30

雪氷と社会基盤

座長：金田安弘（北海道開発技術センター）

- C3-1 吹きだまり予測情報提供システムの開発と試行運用
○間山大輔（シー・イー・サービス）、正岡久明（シー・イー・サービス）、星野洋（シー・イー・サービス）、萩原亨（北海道大学）、金田安弘（北海道開発技術センター）、越後謙二（北海道開発技術センター）、永田泰浩（北海道開発技術センター）
- C3-2 橋梁排水管路流末の凍結過程の観察 -道央自動車道での事例-
○小倉美紀（ネクスコ・エンジニアリング北海道）、小柳俊敬（ネクスコ・エンジニアリング北海道）
- C3-3 道路施設からの落雪危険防止 -実証実験と野外模型実験-
○竹内政夫（NPO 雪氷ネットワーク）、佐々木勝男（北海道科学大学）、大廣智則（ネクスコ・エンジニアリング北海道）
- C3-4 コハク酸二ナトリウム六水和物の凍結防止剤としての利用可能性に関する試験
○佐藤賢治（寒地土木研究所）、中島知幸（寒地土木研究所）、徳永ロベルト（寒地土木研究所）、高橋尚人（寒地土木研究所）、石田樹（寒地土木研究所）、中島範行（富山県立大学）
- C3-5 近赤外線およびマイクロ波を用いた着氷モニタリングに関する試験
○中島知幸（寒地土木研究所）、高橋尚人（寒地土木研究所）、舘山一孝（北見工業大学）、飯島由美（宇宙航空研究開発機構）
- C3-6 北海道における再生可能エネルギーを利用した歩道融雪の可能性検討 -道南地域における地中熱利用融雪の基礎実験（1）-
○大川戸貴浩（北海道開発技術センター）

10:45~12:00

雪氷と建築

座長：富永禎秀（新潟工科大学）

- C3-7 屋根雪荷重推定に関する研究 -2016/17年冬に実施した陸屋根試験体を対象とした観測-
○五十嵐賢次（新潟工科大学）、富永禎秀（新潟工科大学）
- C3-8 長岡市栃尾原町の2017年2~3月における雪片の変態とその積雪と融雪過程 -ベタ雪豪雪地帯向けの自然融雪方式のメカニズムの解明に関する研究-
○深澤大輔（新潟工科大学名誉教授）
- C3-9 金属板屋根における滑落雪性能に及ぼす材料表面の形状特性
○伊東敏幸（北海道科学大学）、苫米地司（北海道科学大学）
- C3-10 地下水熱ヒートポンプ冷暖房システムの稼働状況
○服部恭典（日本地下水開発）、稲毛重之（日本地下水開発）、沼澤喜一（日本地下水開発）
- C3-11 積雪地域における太陽電池アレイの積雪荷重の屋外測定 -太陽光モジュールの軒先に作用する積雪荷重-
○千葉隆弘（北海道科学大学）、苫米地司（北海道科学大学）、伊高健治（弘前大学）

研究発表プログラム 口頭発表 4

発表時間：1 鈴：9 分，2 鈴：12 分（発表終了），3 鈴：15 分（質疑・討論終了）
（スペシャルセッション（SP）はセッションごとに異なります）

9 月 27 日（水） 13：00 ～ 16：00

A 会場（クロステン 2 階 大ホール）

13：00～14：30

SP5：これからの雪崩防災に何が必要か？

座長：松下拓樹（寒地土木研究所）

- A4-1 低気圧性降雪と低温型雪結晶および雪崩との関連
○石坂雅昭（防災科学技術研究所），本吉弘岐（防災科学技術研究所），山口悟（防災科学技術研究所）
- A4-2 雪崩管理の現状と課題
○町田敬（町田建設），町田誠（町田建設），松井富栄（町田建設），岩崎剛（町田建設）
- A4-3 雪崩発生時を想定した官民連携による危機管理対応訓練
坂西和也（新潟県南魚沼地域整備部），○吉田あみ（新潟県南魚沼地域整備部），町田誠（町田建設），町田敬（町田建設）
- A4-4 雪崩対策施設の性能設計に関する一考察 -雪崩予防柵の安全性能について-
○西田陽一（プロテックエンジニアリング），上石勲（防災科学技術研究所）
- A4-5 雪崩予防柵（吊柵）の検討課題
○阿部孝幸
- A4-6 雪崩対策施設点検の手引き案の作成 -その 1：基本構成と今後の取組-
○原田裕介（土木研究所雪崩・地すべり研究センター），石田孝司（土木研究所雪崩・地すべり研究センター），金澤瑛（土木研究所雪崩・地すべり研究センター）

14：30～16：00

SP4：道路防雪施設整備計画の将来とそのあり方

座長：福原輝幸（広島工業大学）

- A4-7 走行速度による除排雪事業の経済評価に関する研究 -評価方法と無積雪と積雪期間における日平均走行速度の比較-
○藤本明宏（福井大学），徳永ロベルト（寒地土木研究所），高橋尚人（寒地土木研究所），森崎恒（札幌市），阿部大介（札幌市），猪村元（北海道大学）
- A4-8 視線誘導灯着雪対策カバーの現地検証
○大廣智則（ネクスコ・エンジニアリング北海道），森雅則（ネクスコ・エンジニアリング北海道），小林智宏（ジオマテック），加藤哲（東日本高速道路），萩原亨（北海道大学）
- A4-9 苫前町古丹別地区流雪溝利用者を対象としたアンケート調査報告
○小西信義（北海道開発技術センター），野呂美紗子（北海道開発技術センター），原文宏（北海道開発技術センター），西大志（苫前町づくり企画）
- A4-10 雪崩対策施設の整備計画に関する一考察
○本田秀樹（構研エンジニアリング），小林一人（構研エンジニアリング），前田健一（名古屋工業大学），西村浩一（名古屋大学）
- A4-11 わが国における道路防雪対策の変遷
○上石勲（防災科学技術研究所）

B 会場（クロステン 2階 中ホール）

13:00~14:30

SP7: グリーンランドにおける気候・氷河氷床・海洋・環境変動

座長: 杉山慎 (北海道大学)

- B4-1 グリーンランド北西部 Bowdoin フィヨルドにおける氷山の分布と移動
○福本峻吾 (北海道大学), 榊原大貴 (北海道大学), 杉山慎 (北海道大学)
- B4-2 極域気候モデル NHM-SMAP のグリーンランド氷床における計算精度
○庭野匡思 (気象庁気象研究所), 青木輝夫 (岡山大学, 気象庁気象研究所), 橋本明弘 (気象庁気象研究所), 的場澄人 (北海道大学), 山口悟 (防災科学技術研究所), 谷川朋範 (気象庁気象研究所), 藤田耕史 (名古屋大学), 對馬あかね (総合地球環境学研究所), 飯塚芳徳 (北海道大学), 島田利元 (宇宙航空研究開発機構), 堀雅裕 (宇宙航空研究開発機構)
- B4-3 グリーンランド氷床北西部 SIGMA-D アイスコア中の鉱物組成変動
○永塚尚子 (国立極地研究所), 東久美子 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 對馬あかね (総合地球環境学研究所), 本山秀明 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 的場澄人 (北海道大学), 藤田耕史 (名古屋大学), 山崎哲秀 (アバンナット), 大沼友貴彦 (東京大学), 箕輪昌紘 (北海道大学), 青木輝夫 (岡山大学)
- B4-4 グリーンランド南東ドームに保存された過去 60 年間の硝酸の起源及び生成過程の変動
○鶴田明日香 (東京工業大学), 服部祥平 (東京工業大学), 飯塚芳徳 (北海道大学), 藤田耕史 (名古屋大学), 植村立 (琉球大学), 的場澄人 (北海道大学), 吉田尚弘 (東京工業大学)
- B4-5 東グリーンランド深層氷床掘削プロジェクト (EGRIP) における現地観測及び氷床コア解析計画
○東久美子 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 川村賢二 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 中澤文男 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 平林幹啓 (国立極地研究所), 永塚尚子 (国立極地研究所), 繁山航 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 本間智之 (長岡技術科学大学), 宮原盛厚 (アノウイ)
- B4-6 東グリーンランド深層氷床掘削プロジェクト (EGRIP) キャンプにおける 2016 年のピット観測
○中澤文男 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 永塚尚子 (国立極地研究所), 平林幹啓 (国立極地研究所), 東久美子 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学)

14:30~16:00

SP6: 雪氷圏-水循環変動研究のネットワーク構築の可能性~リモートセンシング/現地観測・数値実験・データ同化の最前線から~

座長: 川瀬宏明 (気象庁気象研究所), 津滝俊 (宇宙航空研究開発機構)

- B4-7 環北極ツンドラと北極大河川流域の水循環変動 -2002 年~2016 年-
○鈴木和良 (海洋研究開発機構), 松尾功二 (国土地理院), 山崎大 (東京大学), 市井和仁 (千葉大学), 飯島慈裕 (三重大学), 檜山哲哉 (名古屋大学)
- B4-8 高密度森林域における衛星積雪分布の精度評価手法の検討 -十勝三股樹海における試験観測-
○堀雅裕 (宇宙航空研究開発機構), 小林利行 (宇宙航空研究開発機構), 栗原幸雄 (気象庁), 谷川朋範 (気象庁気象研究所), 磯道みなと (富山大学), 秋津朋子 (筑波大学), 奈佐原頭郎 (筑波大学), 杉浦幸之助 (富山大学), 青木輝夫 (岡山大学)
- B4-9 複数衛星センサを用いたグリーンランド氷床表面融解検知アルゴリズム開発
○島田利元 (宇宙航空研究開発機構), 堀雅裕 (宇宙航空研究開発機構)
- B4-10 極域データマネージメント
○矢吹裕伯 (国立極地研究所, データサイエンス共同利用施設), 杉村剛 (国立極地研究所), 照井健志 (国立極地研究所)
- B4-11 ADS における衛星データ可視化・解析 Web アプリケーションの開発による学際的共同研究への貢献
○杉村剛 (国立極地研究所), 照井健志 (国立極地研究所), 矢吹裕伯 (国立極地研究所)

C会場（クロステン 3階 レセプションホール）

13:00~13:30

融雪

座長：平島寛行（防災科学技術研究所）

C4-1 濡れ雪の浮遊による斑点ぬれ雪の生成

○藤野丈志（興和），納口恭明（防災科学技術研究所），亀田貴雄（北見工業大学），原田康浩（北見工業大学），小澤久（広島大学），村井昭夫（石川県立大学）

C4-2 メソスケールの擾乱による融雪と地すべり

○松浦純生（京都大学），岡本隆（森林総合研究所），平島寛行（防災科学技術研究所），阿部修（防災科学技術研究所），石川裕彦（京都大学），土井一生（京都大学），大澤光（京都大学），柴崎達也（国土防災技術）

13:30~14:30

積雪

座長：本谷研（秋田大学）

C4-3 山形蔵王における樹氷形成下限標高の変化 -1997/1998 冬季~2016/2017 冬季-

○沼澤喜一（日本地下水開発），山谷睦（日本地下水開発），沖田圭右（日本地下水開発），原田俊明（日本地下水開発），小林英則（日本地下水開発）

C4-4 農研機構メッシュ積雪モデルによる山地の積雪分布推定

○小南靖弘（北海道農業研究センター），廣田知良（北海道農業研究センター），井上聡（北海道農業研究センター），大野宏之（農業環境変動研究センター）

C4-5 画像解析による立山弥陀ヶ原の積雪分布の推定手法

○杉浦幸之助（富山大学），与河雄太（富山大学）

C4-6 水みちの形成過程における3次元水分移動モデルと積雪変質モデルの比較

○平島寛行（防災科学技術研究所），Nander Wever（スイス連邦雪・雪崩研究所），Francesco Avanzi（カリフォルニア大学バークレー校），山口悟（防災科学技術研究所）

14:30~16:00

SP9：大型降雪実験施設を用いたこれまでの研究と今後の展開

座長：小杉健二（防災科学技術研究所）

C4-7 共用研究施設としての雪氷防災実験棟 -過去20年間の実績-

○小杉健二（防災科学技術研究所），根本征樹（防災科学技術研究所），佐藤研吾（防災科学技術研究所），安達聖（防災科学技術研究所），中村一樹（防災科学技術研究所）

C4-8 人工降雪装置を用いたスギ樹冠の冠雪成長の実験

○勝島隆史（森林総合研究所），安達聖（防災科学技術研究所），竹内由香里（森林総合研究所），嘉戸照夫（富山県農林水産公社）

C4-9 大型低温風洞による表面霜の生成とせん断破壊実験

○尾関俊浩（北海道教育大学札幌校），八代裕平（北海道教育大学札幌校，札幌市立陵陽中学校），仲條莉央（北海道教育大学札幌校），安達聖（防災科学技術研究所）

C4-10 着雪現象の湿度依存に関する影響試験

○佐藤研吾（防災科学技術研究所），小杉健二（防災科学技術研究所）

C4-11 鉄道電力設備に対する着雪・融解・再凍結現象の解明

○徳田一平（西日本旅客鉄道），川嶋健嗣（西日本旅客鉄道，てつでん），佐藤研吾（防災科学技術研究所），根本征樹（防災科学技術研究所），久須美俊一（ジェイアール総研電気システム）

C4-12 雪氷防災実験棟におけるクリオコナイトホールの作成実験

○竹内望（千葉大学），岡本智夏（千葉大学），石渡晃起（千葉大学），山口悟（防災科学技術研究所），富樫数馬（防災科学技術研究所）

研究発表プログラム ポスター発表 1

ポスター展示時間：9月26日（火）09：00～18：00

9月26日（火） 15：00 ～ 16：30（コアタイム1）

G会場（キナーレ 回廊）

雪氷物理

- P1-1 カーリングのストーンが曲がるメカニズム -シンプルな左右説の提案-
○亀田貴雄（北見工業大学）、佐渡公明（北見工業大学）、鹿野大貴（北見工業大学）
- P1-2 人工多結晶氷のクリープ変形に伴う微細組織の変化
○中島甲葵（長岡技術科学大学）、猿谷友孝（長岡技術科学大学）、高田守昌（長岡技術科学大学）、本間智之（長岡技術科学大学）、東信彦（長岡技術科学大学）、東久美子（国立極地研究所、総合研究大学院大学）
- P1-3 2次元小型分光計による水の吸収画像取得とその解析 -水と氷の分離を目指して-
○大前宏和（センテンシア）、三宅俊子（センテンシア）、大嶽久志（宇宙航空研究開発機構）、星野健（宇宙航空研究開発機構）、佐伯和人（大阪大学）
- P1-4 重水素置換されたホスト・ゲストによるメタンハイドレートのラマン分光分析
○八久保晶弘（北見工業大学）、菊池優樹（北見工業大学）、竹谷敏（産業技術総合研究所）
- P1-5 二酸化硫黄ハイドレートのラマン分光分析 -積雪した火山にガスハイドレートが存在する可能性-
○川口瑞樹（北見工業大学）、八久保晶弘（北見工業大学）、柿崎圭人（北見工業大学）、竹谷敏（産業技術総合研究所）
- P1-6 メタン・硫化水素系混合ガスハイドレートにおける結晶構造 I 型大小ケージのラマンピーク面積比について
○柿崎圭人（北見工業大学）、八久保晶弘（北見工業大学）、竹谷敏（産業技術総合研究所）
- P1-7 テトラブチルアンモニウムクロリドハイドレートのNMR スペクトルの温度変化
○木田真人（産業技術総合研究所）、神裕介（産業技術総合研究所）、長尾二郎（産業技術総合研究所）
- P1-8 安定同位体の異なるメタンをゲストガスとするハイドレートの相図
○菊池優樹（北見工業大学）、八久保晶弘（北見工業大学）、小関貴弘（北見工業大学）、竹谷敏（産業技術総合研究所）
- P1-9 海底・湖底の温度環境における人工メタンハイドレートの安定同位体分別
○小関貴弘（北見工業大学）、八久保晶弘（北見工業大学）、竹谷敏（産業技術総合研究所）
- P1-10 珪藻を混ぜて生成したメタンハイドレートのメタン炭素同位体分別の含水率依存性
○佐藤洸介（北見工業大学）、八久保晶弘（北見工業大学）、小関貴弘（北見工業大学）、竹谷敏（産業技術総合研究所）
- P1-11 結晶構造II型ハイドレートに包接されるエタンの水素同位体分別
○松田純平（北見工業大学）、八久保晶弘（北見工業大学）、小関貴弘（北見工業大学）、竹谷敏（産業技術総合研究所）

雪氷化学

- P1-12 積雪に含まれる化学成分の融点直下における下方移動
○大西悠也（富山大学）、朴木英治（富山市科学博物館）、島田互（富山大学）
- P1-13 立山・室堂平における積雪中のイオン成分およびアルデヒド類の特徴（II）
○渡辺幸一（富山県立大学）、日比野佳佑（富山県立大学）、原田英幸（富山県立大学）、江尻遼介（富山県立大学）、金聖鈞（富山県立大学）、島田互（富山大学）、青木一真（富山大学）
- P1-14 2016年中央アジア・パミール山城レーニン峰アイスコア掘削報告
○堀燿一朗（千葉大学）、竹内望（千葉大学）、藤田耕史（名古屋大学）、川村賢二（国立極地研究所）、對馬あかね（総合地球環境学研究所）、宮内謙史郎（千葉大学）、Vladimir Aizen（アイダホ大学）、Azamat Osmonov（中央アジア地球物理研究所）
- P1-15 グリーンランド南東ドームアイスコアに含まれる不溶性微粒子の解析
○網野智美（北海道大学）、飯塚芳徳（北海道大学）、的場澄人（北海道大学）

- P1-16 SIGMA-D サイトで掘削されたアイスコア中の $\delta^{17}O$ および ^{17}O -excess の変動傾向
 ○對馬あかね (総合地球環境学研究所), Vasileios Gkinis (コペンハーゲン大学), 東久美子 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 的場澄人 (北海道大学), 永塚尚子 (国立極地研究所), 本山秀明 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 藤田耕史 (名古屋大学), 青木輝夫 (岡山大学)
- P1-17 連続融解・分析装置による雪氷コア中無機元素の分析
 ○平林幹啓 (国立極地研究所), 尾形純 (国立極地研究所), 東久美子 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), Remi Dallmayr (国立極地研究所), 塚川佳美 (国立極地研究所), 北村享太郎 (国立極地研究所), 川村賢二 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学)

吹雪

- P1-18 吹雪予測システムの試験運用についてー根室北部を対象とした 2016-17 年冬期の事例ー
 ○根本征樹 (防災科学技術研究所), 中村一樹 (防災科学技術研究所), 上石勲 (防災科学技術研究所)
- P1-19 南極昭和基地におけるブリザードの変動特性
 ○美濃部祥 (富山大学), 杉浦幸之助 (富山大学), 平沢尚彦 (国立極地研究所), 山内恭 (国立極地研究所)

降雪・着氷雪

- P1-20 市民科学による超高密度雪結晶観測「#関東雪結晶 プロジェクト」
 ○荒木健太郎 (気象庁気象研究所)
- P1-21 塩沢における 70 年間の降積雪観測データの分析
 ○高橋大介 (鉄道総合技術研究所), 佐藤亮太 (鉄道総合技術研究所), 鎌田慈 (鉄道総合技術研究所), 飯倉茂弘 (鉄道総合技術研究所)
- P1-22 偏波レーダーを用いた長岡地域の時系列粒子判別
 ○鈴木貴博 (長岡技術科学大学), 熊倉俊郎 (長岡技術科学大学), 中井専人 (防災科学技術研究所)
- P1-23 落下する雪粒子の移動を考慮した降水量の推定手法 (その 2)
 ○宍戸真也 (鉄道総合技術研究所), 福原隆彰 (鉄道総合技術研究所), 鎌田慈 (鉄道総合技術研究所)
- P1-24 強風時における雨量計への降雪粒子の捕捉率について
 ○大宮哲 (寒地土木研究所), 松澤勝 (寒地土木研究所)
- P1-25 光学式ディストロメーターの性能調査 (2)
 ○山下克也 (防災科学技術研究所), 本吉弘岐 (防災科学技術研究所), 中井専人 (防災科学技術研究所)
- P1-26 降雪深増率計の開発Ⅲー2016-2017 積雪板式時間降雪深計との比較ー
 ○石丸民之永 (新潟電機), 熊倉俊郎 (長岡技術科学大学), 山崎正喜 (新潟電機), 羽賀秀樹 (新潟電機)
- P1-27 反射型光学式固体降水粒子観測器の開発と検証について
 ○上林颯 (長岡技術科学大学), 熊倉俊郎 (長岡技術科学大学), 山崎正喜 (新潟電機), 石丸民之永 (新潟電機), 中井専人 (防災科学技術研究所)
- P1-28 模型着雪時の空気抵抗力測定試験
 ○鎌田慈 (鉄道総合技術研究所), 高橋大介 (鉄道総合技術研究所), 飯倉茂弘 (鉄道総合技術研究所)

氷河

- P1-29 C-band 合成開口レーダを用いた熱帯氷河の後方散乱特性ーHuayna Potosi West 氷河における snow line の推定ー
 ○船木翔太 (日本大学), 朝岡良浩 (日本大学), 若林裕之 (日本大学)
- P1-30 南極 Langhovde 氷河における末端位置の変動
 ○山根志織 (北海道大学), 箕輪昌紘 (北海道大学), 杉山慎 (北海道大学)
- P1-31 LazyClimber 法による氷河の平衡線高度の推定 (3)ー世界各地の氷河への適用ー
 ○竹中修平, 坂井亜規子 (名古屋大学)
- P1-32 ネパール・ヒマラヤ, ランタン・リルン峰の懸垂氷河の崩落
 ○渡部帆南 (新潟大学), 奈良間千之 (新潟大学), 河島克久 (新潟大学)

- P1-33 ヒマラヤ東部地域におけるデブリ氷河の氷河上湖の季節変動
○杵淵千香子 (新潟大学), 奈良間千之 (新潟大学), 山之口勤 (リモート・センシング技術センター), 田殿武雄 (宇宙航空研究開発機構)
- P1-34 天山山脈北部地域イシクル湖流域における短命氷河湖の地形環境
○ミルラン・ダイウロフ (新潟大学), 奈良間千之 (新潟大学), 山之口勤 (リモート・センシング技術センター), 田殿武雄 (宇宙航空研究開発機構), 浮田甚郎 (新潟大学)
- P1-35 地下レーダー (GPR) を用いた氷河内部の空洞検出
○森義孝 (新潟大学), 奈良間千之 (新潟大学), 高玉秀之 (新潟大学), ミルラン・ダイウロフ (新潟大学)

海水と陸氷

- P1-36 AMSR-E/AMSR2 を用いた夏季北極海の海水厚推定アルゴリズムの改良
舘山一孝 (北見工業大学), 中晴彦 (荒井建設), 星野聖太 (北見工業大学), ○石原宙 (北見工業大学), 徳留泰行 (荒井建設), 佐々木奨太 (北見工業大学), 田中康弘 (北見工業大学)
- P1-37 モンゴル北部・フブスグル地域における気温鉛直分布に及ぼす湖水凍結の影響
○杉田明史 (環器), 武田一夫 (帯広畜産大学), 木村賢人 (帯広畜産大学), ラリー・ロペス (山形大学)
- P1-38 摩周湖の結氷から解氷まで
○東海林明雄 (北海道教育大学名誉教授), 蜂谷衛 (環境省)
- P1-39 「流氷」の英語は Pack ice か Drift ice か? -WMO 海氷用語の変化-
○高橋修平 (北海道立オホーツク流氷科学センター), 豊田威信 (北海道大学)

雪氷と教育

- P1-40 「雪形の日」は6月18日でよかったのか?
○和泉薫 (国際雪形研究会)
- P1-41 第21, 22回雪形ウォッチング報告
○納口恭明 (防災科学技術研究所)
- P1-42 自動フォーカスブラケットを利用した雪結晶撮影方法
○牟田淳 (東京工芸大学)
- P1-43 “中谷宇吉郎の仕事”を大学生にいかに伝えるか
○平松和彦 (福山市立大学)
- P1-44 土壌凍結深の測定を通じたアウトリーチプログラム (6)
○原田鉦一郎 (宮城大学), 吉川謙二 (アラスカ大学フェアバンクス校), 岩花剛 (アラスカ大学フェアバンクス校), Julia Stanilovskaya (Total S.A.), 澤田結基 (福山市立大学) 曾根敏雄 (北海道大学)

雪氷と生活

- P1-45 雪かきをエンターテイメントにするスマート・スコープの開発 -その3: 除雪動作判定アルゴリズムの構築と屋外実験-
上村靖司 (長岡技術科学大学), 村井優 (長岡技術科学大学), ○赤川祐太 (長岡技術科学大学), 大高信仁 (長岡技術科学大学)
- P1-46 十日町雪まつり 8 冬季のナダレンジャー活動
○納口恭明 (防災科学技術研究所), 竹内由香里 (森林総合研究所), 遠藤八十一 (国際雪形研究会), 和泉薫 (新潟大学), 俵山裕 (十日町市), 栢原孝浩 (防災科学技術研究所), 安達聖 (防災科学技術研究所)

SP1: 学生優秀発表賞特別セッション

- P1-47 Seasonal and inter-annual variability in velocity and frontal position of Siachen Glacier (Eastern Karakorum) using multi-satellite data
○Muhammad Usman (Hokkaido University), Masato Furuya (Hokkaido University), Daiki Sakakibara (Hokkaido University), Takahiro Abe (Japan Aerospace Exploration Agency)
- P1-48 合成開口レーダーによる南パタゴニア氷原 Pio XI 氷河の流動速度の時空間変化
○波多俊太郎 (北海道大学), 古屋正人 (北海道大学)
- P1-49 パタゴニア氷原ペリート・モレノ氷河の変動に関する数値実験 (その2)
○三浦綾菜 (広島工業大学), 内藤望 (広島工業大学)

- P1-50 南パタゴニア氷原・グレイ氷河における後退と基盤地形の関係性
○山本淳博 (北海道大学), 杉山慎 (北海道大学), 箕輪昌紘 (北海道大学)
- P1-51 グリーンランド北西部カナック氷帽消耗域における融雪期初期の積雪特性
○羽月稜 (北海道大学), 黒崎豊 (北海道大学), 的場澄人 (北海道大学), 杉山慎 (北海道大学)
- P1-52 グリーンランド北西部アイスコアによる過去 100 年の環境復元
○黒崎豊 (北海道大学), 的場澄人 (北海道大学), 飯塚芳徳 (北海道大学), 青木輝夫 (岡山大学), 杉山慎 (北海道大学)
- P1-53 北極海航路におけるアイスクラスを考慮した氷況と船速に関する研究
○奥田駿 (北見工業大学), 舘山一孝 (北見工業大学), 大塚夏彦 (北海道大学), 森下裕士 (中央コンサルタンツ)
- P1-54 水と氷の近赤外線反射スペクトルの測定
○山崎雅文 (東京理科大学), 住野豊 (東京理科大学), 飯島由美 (宇宙航空研究開発機構)
- P1-55 立山ミクリガ池流域の積雪貯留量の推定
○石崎悠 (富山大学), 杉浦幸之助 (富山大学)
- P1-56 山形県月山山麓樹林帯の雪氷藻類の繁殖に対する林内雨の影響
○渡邊茜 (千葉大学), 竹内望 (千葉大学), 堀燿一朗 (千葉大学), 石渡晃起 (千葉大学), 竹内俊介 (千葉大学), 高橋翼 (千葉大学), 鈴木拓海 (東北大学)
- P1-57 パーソナルコンピュータを利用した吹雪の視覚的再現 -没入型 VR システムの開発環境-
○堀田美月 (北見工業大学), 富樫優子 (北見工業大学), 菅原幸夫, 高橋修平 (北海道立オホーツク流水科学センター), 亀田貴雄 (北見工業大学)
- P1-58 吹雪時の視程と飛雪粒子との関係 -SPC データを用いた LPM データの補正方法-
○富樫優子 (北見工業大学), 亀田貴雄 (北見工業大学), 菅原幸夫, 石丸民之永 (新潟電機), 丸山敏介 (新潟電機)
- P1-59 カワウ追払い用氷銃の実用性向上
○中村友洋 (長岡技術科学大学), 上村靖司 (長岡技術科学大学)
- P1-60 冬季の斜里における上位蜃気楼の発生状況とドローンを用いた調査方法の開発
○石原宙 (北見工業大学), 舘山一孝 (北見工業大学), 秦芳暉 (北見工業大学), 佐藤トモ子 (知床蜃気楼・幻氷研究会), 小林一人 (構研エンジニアリング)

SP3 : 2017 年 3 月 27 日に栃木県那須岳で発生した雪崩災害

- P1-61 2017 年 3 月 27 日に那須岳で雪崩災害をもたらした積雪の力学的特性
河島克久 (新潟大学), 松元高峰 (新潟大学), 渡部俊 (新潟大学), 西村浩一 (名古屋大学), ○沖田竜馬 (新潟大学), 栗原璃 (新潟大学), 吉川知里 (新潟大学)
- P1-62 那須岳周辺地域における降雪深の時空間特性
○吉川知里 (新潟大学), 松元高峰 (新潟大学), 河島克久 (新潟大学), 伊豫部勉 (京都大学)

SP5 : これからの雪崩防災に何が必要か？

- P1-63 広葉樹林内における乾雪表層雪崩の発生条件について
○松下拓樹 (寒地土木研究所), 高橋渉 (寒地土木研究所), 櫻井俊光 (寒地土木研究所), 原田裕介 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター), 松澤勝 (寒地土木研究所)

SP8 : 温帯雪氷圏における降積雪変動と雪氷災害の変容

- P1-64 十日町における気温・積雪深・降水量の気候的変遷 -森林総研十日町試験地の 100 年の観測から-
○石坂雅昭 (防災科学技術研究所), 竹内由香里 (森林総合研究所)
- P1-65 北アルプスで観測された 2015/16 年冬季の顕著な少雪の再現実験
○川瀬宏明 (気象庁気象研究所), 飯田肇 (立山カルデラ砂防博物館), 青木一真 (富山大学), 山崎哲 (海洋研究開発機構)
- P1-66 大気全球再解析データのダウンスケーリング実験による新潟の降雪分布の再現
○山崎哲 (海洋研究開発機構), 川瀬宏明 (気象庁気象研究所)

研究発表プログラム ポスター発表2

ポスター展示時間：9月26日（火）09：00～18：00

9月26日（火） 16：30 ～ 18：00（コアタイム2）

G会場（キナーレ 回廊）

雪氷と生物

- P2-1 中国天山山脈・ウルムチ No.1 氷河のクリオコナイト粒の形成・分解過程
○塩向雅斗（千葉大学）、竹内望（千葉大学）、Li Zhongqin（中国科学院）
- P2-2 アラスカ中部・グルカナ氷河の雪氷藻類群集の近年の変化
○竹内望（千葉大学）、中島智美（千葉大学）、宮内謙史郎（千葉大学）、岡本智夏（千葉大学）
- P2-3 森林皆伐が融雪流出に及ぼす影響 -山形県真室川町釜淵森林理水試験地における対照流域法から-
○玉井幸治（森林総合研究所）、野口正二（森林総合研究所）
- P2-4 スギ人工林における間伐が冬期樹冠通過降水量に及ぼす影響 -大型貯留式雨雪量計による評価-
○野口正二（森林総合研究所）、金子智紀（秋田県林業研究研修センター）、和田覚（秋田県林業研究研修センター）、新田響平（秋田県林業研究研修センター）、澤野真治（森林総合研究所）
- P2-5 粘性圧縮モデルによる温暖化時の広域積雪深推定と生態系影響評価
○小南裕志（森林総合研究所）、大橋春香（森林総合研究所）、津山幾太郎（森林総合研究所）、松井哲哉（森林総合研究所）、平田晶子（森林総合研究所）、田中信行（東京農業大学）
- P2-6 急斜面における低木広葉樹の埋雪・倒伏状況の観察
○松元高峰（新潟大学）、河島克久（新潟大学）、渡部俊（新潟大学）、宇野史睦（産業技術総合研究所）、佐々木明彦（信州大学）、西村基志（信州大学）、片岡香子（新潟大学）、西井稜子（新潟大学）、渡邊美徳（東日本旅客鉄道）、勝島隆史（森林総合研究所）、竹内由香里（森林総合研究所）、宮下彩奈（栃木県林業センター）
- P2-7 蔵王火山の亜高山帯針葉樹林における積雪グライド強度の算定
○佐々木明彦（信州大学）、鈴木啓助（信州大学）
- P2-8 豪雪地帯における放置林の現状と対策
○堀和彦（岩手大学）、井良沢道也（岩手大学）、松嶋秀士（ビーセーフ）

雪崩

- P2-9 2007～2017年に観測した北海道の表層雪崩における弱層の特徴 -北海道支部雪氷災害調査チームの10年間の調査記録-
○尾関俊浩（北海道教育大学札幌校）、荒川逸人（野外科学）、八久保晶弘（北見工業大学）、原田裕介（土木研究所雪崩・地すべり研究センター）、岩花剛（アラスカ大学フェアバンクス校）、兒玉裕二（国立極地研究所）、中村一樹（防災科学技術研究所）、榊原大貴（北海道大学）、榊原健一（北海道医療大学）、澤村教伸（法政大学）、下山宏（北海道大学）、杉山慎（北海道大学）、山野井克己（森林総合研究所）、山口悟（防災科学技術研究所）、秋田谷英次（NPO 雪氷ネットワーク）
- P2-10 北海道における道路雪崩の特徴 -雪崩の種類と月別の発生傾向-
○金田安弘（北海道開発技術センター）、竹内政夫（NPO 雪氷ネットワーク）、大槻政哉（雪研スノーイーターズ）、仁田智（雪研スノーイーターズ）、三木田正則（北海道道路管理技術センター）
- P2-11 新潟県下越地域で発生した雪崩災害の統計と特徴
○秋山一弥（筑波大学）、和泉薫（新潟大学名誉教授、NPO なだれ対策技術フォーラム）
- P2-12 地震データから読み取る富士山の雪崩の特徴
○Cristina Pérez-Guillén（名古屋大学）、西村浩一（名古屋大学）、堀川信一郎（名古屋大学）、常松佳恵（山梨県富士山科学研究所）、本多亮（山梨県富士山科学研究所）、吉本充弘（山梨県富士山科学研究所）
- P2-13 文部科学省科学研究費助成事業（特別研究促進費）「2017年3月27日に栃木県那須町で発生した雪崩災害に関する調査研究」の概要
○上石勲（防災科学技術研究所）

- P2-14 表層雪崩の「ハザード管理表」の作成に関する考察
○阿部孝幸
- P2-15 低気圧接近時の短期間多量降雪における積雪の圧縮粘性率と積雪安定度
○高橋渉 (寒地土木研究所), 松下拓樹 (寒地土木研究所), 原田裕介 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター), 松澤勝 (寒地土木研究所)
- P2-16 樹林帯をすり抜けて多発する雪崩発生時の気象の特徴 -上高地乗鞍スーパー林道の事例-
○原田裕介 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター), 石田孝司 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター)
- P2-17 連続体モデルを用いた雪崩到達距離に関する検証事例 -2000年2月5日に長野県白馬村で発生した乾雪表層雪崩を対象として-
○石田孝司 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター), 原田裕介 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター), 松下拓樹 (寒地土木研究所), 田中頼博 (奥山ボーリング)
- P2-18 遠赤外線融雪装置による空間確保運用による効率化検証
○町田敬 (町田建設), 長澤輝 (長岡国道事務所), 松井富栄 (町田建設), 四十谷朋子 (長岡国道事務所), 古澤立樹 (長岡国道事務所), 新井智 (ユニ・ロッド), 北谷公昭 (ユニ・ロッド)
- P2-19 雪崩予防柵の雪庇防止・軽減対策に関する調査 -雪崩予防柵の雪庇成長抑制効果観測-
○渡辺伸一 (アルゴス), 下村忠一 (NPO なだれ防災技術フォーラム), 西田陽一 (プロテックエンジニアリング), 石井太一 (プロテックエンジニアリング)
- P2-20 雪崩予防柵上の巻きだれの形成過程に関する現地観測
高橋渉 (寒地土木研究所), ○松下拓樹 (寒地土木研究所), 西村敦史 (寒地土木研究所), 松澤勝 (寒地土木研究所)

融雪

- P2-21 山陰地方における rain-on-snow events にともなう融雪災害
○伊豫部勉 (京都大学), 河島克久 (新潟大学), 松元高峰 (新潟大学)
- P2-22 北海道内における積雪底面流出量の試算
○佐藤亮太 (鉄道総合技術研究所), 飯倉茂弘 (鉄道総合技術研究所)
- P2-23 融雪期における地すべり地内の地下水位変動
○金澤瑛 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター), 丸山清輝 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター), 石川茂 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター), 石田孝司 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター)
- P2-24 魚沼盆地南部における融雪初期の積雪水量調査
○高橋大介 (鉄道総合技術研究所), 佐藤亮太 (鉄道総合技術研究所), 飯倉茂弘 (鉄道総合技術研究所), 河島克久 (新潟大学), 遠藤徹 (元鉄道総合技術研究所)
- P2-25 斑点ぬれ雪の白い斑点の動き観察報告 (その2)
○藤野丈志 (興和), 亀田貴雄 (北見工業大学), 原田康浩 (北見工業大学), 納口恭明 (防災科学技術研究所), 小澤久 (広島大学), 村井昭夫 (石川県立大学)
- P2-26 雪氷の菓子化に関する研究1 -斑点ぬれ雪の菓子化-
○納口恭明 (防災科学技術研究所), 藤野丈志 (興和)
- P2-27 山地小流域における融雪流出時の河川水温
○野村睦 (北海道大学), 福澤加里部 (北海道大学), 鷹西俊和 (北海道大学)
- P2-28 火山監視を目的とした傾斜計に現れる融雪の影響 -日照時間及び気温から推定した融雪量と用いた傾斜計データの降水補正アルゴリズム-
○木村一洋 (気象庁, 新潟大学), 河島克久 (新潟大学), 松元高峰 (新潟大学), 伊豫部勉 (京都大学), 佐々木明彦 (信州大学), 宮村淳一 (気象庁), 中橋正樹 (気象庁)
- P2-29 積雪上の気温に対する森林の影響
○加藤和輝 (北海道大学), 下山宏 (北海道大学), 山野井克己 (森林総合研究所), 溝口康子 (森林総合研究所), 渡辺力 (北海道大学)
- P2-30 融雪土砂災害予測にむけた積雪モデルの応用 (2) -積雪中における水みちの土壌浸透への影響-
○平島寛行 (防災科学技術研究所), 松浦純生 (京都大学), 大澤光 (京都大学), 阿部修 (防災科学技術研究所), 岡本隆 (森林総合研究所)

積雪

- P2-31 積雪変質モデルを用いた積雪水量分布の推定 (2) -実用化に向けた精度検証と情報提供手法改良の試み-
○平島寛行 (防災科学技術研究所), 伊豫部勉 (京都大学), 河島克久 (新潟大学)
- P2-32 3回の航空レーザ測量結果から分析した山間部における積雪分布の特徴
○西原照雅 (寒地土木研究所), 谷瀬敦 (寒地土木研究所)
- P2-33 山形蔵王における雪氷現象の観測 (平成28年度)
○沖田圭右 (日本地下水開発), 山谷睦 (日本地下水開発), 沼澤喜一 (日本地下水開発), 小林英則 (日本地下水開発), 原田俊明 (日本地下水開発)
- P2-34 2017年3月に実施した立山・室堂平での積雪断面観測
○飯田肇 (立山カルデラ砂防博物館), 福井幸太郎 (立山カルデラ砂防博物館), 長田和雄 (名古屋大学)
- P2-35 2017年の道央・道東地域広域積雪調査の特徴
○白川龍生 (北見工業大学)
- P2-36 立山室堂平における雪えくぼの断面観測
○島田互 (富山大学), 浅地泉 (北海道大学), 朴木英治 (富山市科学博物館)
- P2-37 乾雪中における水みちの成長を捉える -フィンガー流は増えるけど、幅は広がらない-
○勝島隆史 (森林総合研究所), 安達聖 (防災科学技術研究所), 山口悟 (防災科学技術研究所), 尾関俊浩 (北海道教育大学札幌校), 熊倉俊郎 (長岡技術科学大学)
- P2-38 粉体層中に形成される水みち幅の粒子直径・形状依存性
○辻滉樹 (名古屋大学), 西村浩一 (名古屋大学), 桂木洋光 (名古屋大学), 山口悟 (防災科学技術研究所), 平島寛行 (防災科学技術研究所)
- P2-39 雪氷用MRIによる積雪内部の選択流の可視化 その2
○安達聖 (防災科学技術研究所), 勝島隆史 (森林総合研究所), 山口悟 (防災科学技術研究所), 尾関俊浩 (北海道教育大学札幌校)
- P2-40 むねざらめ雪の比表面積測定
○八久保晶弘 (北見工業大学), 山口悟 (防災科学技術研究所), 白川龍生 (北見工業大学), 青木輝夫 (岡山大学)
- P2-41 長期保存下における氷粒子の比表面積の減少速度
○吉野雄作 (北見工業大学), 八久保晶弘 (北見工業大学), 山口悟 (防災科学技術研究所), 青木輝夫 (岡山大学)
- P2-42 積雪の光散乱に関する実験的研究 (3) -環境光の影響分離のための解析-
○三宅俊子 (センチンシア), 大前宏和 (センチンシア), 神田淳 (宇宙航空研究開発機構), 舘山一孝 (北見工業大学), 原田康浩 (北見工業大学)
- P2-43 積雪層内における弾性波の伝播速度の推定 -複数条件下での比較-
○土井一生 (京都大学), 大澤光 (京都大学), 平島寛行 (防災科学技術研究所), 阿部修 (防災科学技術研究所), 柴崎達也 (国土防災技術), 松浦純生 (京都大学)
- P2-44 北アルプス・白馬大雪渓における落石と地形変化について -登山道の安全を考える-
○畠瞳美 (新潟大学), 奈良間千之 (新潟大学), 森義孝 (新潟大学)

氷床

- P2-45 南極氷床上 S17 拠点での夏季における昇華蒸発量の直接連続観測
○小西啓之 (大阪教育大学), 平沢尚彦 (国立極地研究所)
- P2-46 2003年から2011年での南極氷床沿岸からドームふじまでの低気圧進入経路の特徴
○恵平寿輝 (北見工業大学), 亀田貴雄 (北見工業大学), Matthew Lazzara (ウイスコンシン大学)
- P2-47 JARE54にて採取した30mアイスコアの年代決定と環境変動
○本山秀明 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 鈴木利孝 (山形大学), 福井幸太郎 (立山カルデラ砂防博物館), 大野浩 (北見工業大学), 保科優 (国立環境研究所), 平林幹啓 (国立極地研究所), 藤田秀二 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学)

凍土

- P2-48 永久凍土不可逆融解による温室効果ガス放出量の現状評価と将来予測 -現地観測・衛星観測・実験室分析・数値モデルの統合的アプローチ-
○斉藤和之 (海洋研究開発機構), 町屋広和 (海洋研究開発機構), 大野浩 (北見工業大学), 横島徳太 (国

- 立環境研究所), 岩花剛 (アラスカ大学フェアバンクス校)
- P2-49 北海道東部・十勝平野のアースハンモックを取り巻く環境の変化
○武田一夫 (元帯広畜産大学), 小疇尚 (明治大学), 清水長正 (駒澤大学), 澤田結基 (福山市立大学), 川内和博 (十勝自然保護協会)
- P2-50 細粒分が凍結膨張の異方性に及ぼす影響
○釘崎佑樹 (精研), 上田保司 (精研), 大石雅人 (精研)
- P2-51 デジタル写真測量を用いたアースハンモックの微地形計測
○澤田結基 (福山市立大学), 小疇尚 (明治大学), 武田一夫 (元帯広畜産大学), 清水長正 (駒澤大学), 川内和博 (十勝自然保護協会)
- P2-52 多深度地温測定装置を用いた凍結深観測 (2) -2017年十勝・釧路地方の例-
曾根敏雄 (北海道大学), ○原田敏一郎 (宮城大学), 森章一 (北海道大学)
- P2-53 地盤凍結工法における貼付凍結管の伝熱性について
○長田友里恵 (ケミカルグラウト), 相馬啓 (ケミカルグラウト), 塩屋祐太 (ケミカルグラウト)
- P2-54 貼り付け凍結管による土の凍結過程の観察
○奥田涼太 (三重大学), 渡辺晋生 (三重大学), 相馬啓 (ケミカルグラウト)
- P2-55 側方変位が生じない三軸凍上実験条件における凍結膨張率 -動水抵抗を考慮した場合-
○大石雅人 (精研), 上田保司 (精研)
- P2-56 天山山脈北部地域における山岳永久凍土の空間分布と地形特徴
○高玉秀之 (新潟大学), 奈良間千之 (新潟大学), 山之口勤 (日本リモートセンシング・技術センター), 田殿武雄 (宇宙航空研究開発機構)

気候システム

- P2-57 陸面過程はシベリアの降雪並びに積雪深予測の不確実性にどのような影響を与えるのか?
○鈴木和良 (海洋研究開発機構), Milija Zupanski (コロラド州立大学)
- P2-58 極域での無人気象観測: グリーンランド SIGMA と南極 JARE
○本山秀明 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 青木輝夫 (岡山大学), 庭野匡思 (気象庁気象研究所), 的場澄人 (北海道大学), 杉山慎 (北海道大学), 山口悟 (防災科学技術研究所), 平沢尚彦 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 川村賢二 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 三戸洋介 (気象庁), 藤原宏章 (気象庁), 小野文睦 (気象庁), 森陽樹 (気象庁)
- P2-59 北海道西岸沖で発生する小低気圧に対する海氷および山岳の効果
○佐藤友徳 (北海道大学), 田村健太 (北海道大学)

観測・計測技術

- P2-60 スマートフォンを用いた冬期歩行危険箇所検出の試み
○齊田光 (寒地土木研究所), 高橋尚人 (寒地土木研究所), 高野伸栄 (北海道大学)
- P2-61 国内外の氷コア掘削メカニカルドリルと検層装置について
○本山秀明 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学), 古崎睦 (旭川工業高等専門学校), 高田守昌 (長岡技術科学大学), 的場澄人 (北海道大学), 高橋昭好 (元地球工学研究所), 田中洋一 (ジオシステムズ), 宮原盛厚 (アノウィ), 新堀邦夫 (北海道大学), 森章一 (北海道大学), 川村賢二 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学)
- P2-62 積雪深差に基づく降雪深の誤差とその補正 (2)
○佐藤威 (防災科学技術研究所), 小杉健二 (防災科学技術研究所)
- P2-63 回転翼航空機を利用した富山県上空の過酸化水素およびアルデヒド類の測定 -立山における積雪化学との比較-
宋笑晶 (富山県立大学), 金美佳 (富山県立大学), 市川夢子 (富山県立大学), 角山沙織 (富山県立大学), 矢地千奈津 (富山県立大学), ○渡辺幸一 (富山県立大学)
- P2-64 定点カメラを用いた高山帯生態系の温暖化影響モニタリング
○小熊宏之 (国立環境研究所), 井手玲子 (国立環境研究所), 浜田崇 (長野県環境保全研究所), 尾関雅章 (長野県環境保全研究所)
- P2-65 UHF 帯における単結晶氷の複素誘電率の測定
○上條敏生 (首都大学東京), 千葉雅美 (首都大学東京), 近匡 (成蹊大学), 矢吹文昭 (東海大学), 内海倫明 (東海大学), 藤井政俊 (島根大学), 藤田秀二 (国立極地研究所)

- P2-66 北極海における衛星高度計 SIRAL を用いた海氷厚の推定 -南極海での利用を目指して-
星野聖太 (北見工業大学), 舘山一孝 (北見工業大学), ○奥田駿 (北見工業大学), 田中康弘 (北見工業大学)

雪氷と建築

- P2-67 降雨を考慮した屋根雪荷重の評価に資する積雪時の降雨特性 -気象庁の日データに基づく解析-
大槻政哉 (雪研スノーイーターズ), ○西田浩平 (雪研スノーイーターズ), 齋藤佳彦 (雪研スノーイーターズ), 高橋徹 (千葉大学), 喜々津仁密 (国土交通省国土技術政策総合研究所)
- P2-68 LES による建物周辺の吹きだまり予測
○田畑侑一 (大林組), 大塚清敏 (大林組)

雪氷と社会基盤

- P2-69 記録的大雪による車両立往生を削減する方法の検討 -山梨・鳥取の事例をふまえて-
○澤田学
- P2-70 反射光による路面状態検出装置の開発 -複数波長による測定-
○諸本洋幸 (ヤマハ発動機), 大堀徳子 (ヤマハ発動機)
- P2-71 散水消雪設備用高出力熱源機 (真空式温水機) の開発
○八木秀隆 (東日本旅客鉄道), 山口慧祐 (東日本旅客鉄道), 三浦智郎 (日本サーモエナジー), 正野孝幸 (日本サーモエナジー)
- P2-72 除雪作業で形成される雪堤の力学的特性の基礎的評価
河田剛毅 (長岡工業高等専門学校), ○田中大地 (長岡工業高等専門学校)
- P2-73 下枝の枯れ上がりが見られる防雪林における吹雪量と風速の変化
○伊東靖彦 (寒地土木研究所), 櫻井俊光 (寒地土木研究所), 松澤勝 (寒地土木研究所)
- P2-74 片切土道路における吹きだまり深さと吹雪量の関係調査 -2016 年度冬期における弟子屈町での観測事例-
○武知洋太 (寒地土木研究所), 大宮哲 (寒地土木研究所), 松澤勝 (寒地土木研究所), 原田裕介 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター)

SP2: 吹雪・吹きだまりの計測技術に関する新たな展開

- P2-75 任意の高さの飛雪流量とその高さ以下の吹雪量の関係
○松澤勝 (寒地土木研究所), 武知洋太 (寒地土木研究所), 大宮哲 (寒地土木研究所)
- P2-76 ネット式吹雪計の捕捉率について -風洞実験による結果より-
○武知洋太 (寒地土木研究所), 松澤勝 (寒地土木研究所), 大宮哲 (寒地土木研究所)
- P2-77 吹き止め柵と吹きだめ柵を併設した場合の雪丘の成長について
○永田泰浩 (北海道開発技術センター), 金田安弘 (北海道開発技術センター), 竹内政夫 (NPO 雪氷ネットワーク), 徳永博之 (中標津町), 山本雅典 (中標津町)

SP4: 道路防雪施設整備計画の将来とそのあり方

- P2-78 地吹雪発生地域の高速道路における防雪林更新計画
佐藤信昭 (東日本高速道路), ○大久保雅宏 (ネクスコ・エンジニアリング東北), 土橋博文 (ネクスコ・エンジニアリング東北), 上村恵也 (ネクスコ・エンジニアリング東北)
- P2-79 小型 UAV による空撮画像を用いた積雪断面測定
○高橋浩司 (構研エンジニアリング), 長沼芳樹 (構研エンジニアリング), 本田秀樹 (構研エンジニアリング), 白川龍生 (北見工業大学)

SP6: 雪氷圏-水循環変動研究のネットワーク構築の可能性~リモートセンシング/現地観測・数値実験・データ同化の最前線から~

- P2-80 人工衛星観測による北極域の海面露出面積露出期間および海色の長期変動
○津滝俊 (宇宙航空研究開発機構), 堀雅裕 (宇宙航空研究開発機構), 村上浩 (宇宙航空研究開発機構)

SP7 : グリーンランドにおける気候・氷河氷床・海洋・環境変動

P2-81 カービング氷河の高濁度融解水流出がフィヨルド生態系へ与える影響

○漢那直也 (北海道大学), 杉山慎 (北海道大学), 大橋良彦 (北海道大学), 榊原大貴 (北海道大学), 西沢文吾 (北海道大学), 浅地泉 (北海道大学), 深町康 (北海道大学), 阿部義之 (北海道大学), 山口篤 (北海道大学)

P2-82 グリーンランド氷床の暗色域面積へ与える表面融解の影響

○島田利元 (宇宙航空研究開発機構, 気象庁気象研究所), 堀雅裕 (宇宙航空研究開発機構), 竹内望 (千葉大学), 青木輝夫 (岡山大学, 気象庁気象研究所)

P2-83 2017年グリーンランド氷床北西部 (SIGMA-A サイト) 観測報告

○的場澄人 (北海道大学), 庭野匡思 (気象庁気象研究所), 谷川朋範 (気象庁気象研究所), 飯塚芳徳 (北海道大学), 山崎哲秀 (アバンナット, 北極観測支援機構), 黒崎豊 (北海道大学), 青木輝夫 (岡山大学), 橋本明弘 (気象庁気象研究所) 保坂征宏 (気象庁気象研究所), 杉山慎 (北海道大学)

P2-84 グリーンランド北西部カナック村で発生した氷河流出河川の洪水

○榊原大貴 (北海道大学), 庭野匡思 (気象庁気象研究所), 杉山慎 (北海道大学)

P2-85 氷期氷の速い変形と固体微粒子の関連性について

○猿谷友孝 (長岡技術科学大学), 中島甲葵 (長岡技術科学大学), 高田守昌 (長岡技術科学大学), 本間智之 (長岡技術科学大学), 東信彦 (長岡技術科学大学), 東久美子 (国立極地研究所, 総合研究大学院大学)

SP9 : 大型降雪実験施設を用いたこれまでの研究と今後の展開

P2-86 模擬室環境を用いた風洞実験 -建築壁への着雪実験-

○松村光太郎 (岩手県立大学), 林基哉 (国立保健医療科学院), 佐藤研吾 (防災科学技術研究所), 小杉健二 (防災科学技術研究所)